

避難所の悪臭

バイオで解消

支援の輪

東日本大震災

消臭剤製造、販売の環境ダイゼン(北見市端野町、窪之内覚社長)は、東日本大震災の被災地支援のためバイオ消臭液「きえ〜る」を日本赤十字社北海道支部に寄付した。現地の避難所や救護所ではトイレや日常生活から出る悪臭が問題になっており、臭いの原因となる細菌の働きを抑える独自の技術を生かし、避難者の生活を支援する。「きえ〜る」は1998年に同社が開発した。乳酸菌や酵母菌などの有用微生物群に、地元の酪農家の牛の尿をえさとして与える



悪臭の原因となる細菌の働きを抑えるバイオ消臭液「きえ〜る」

地元企業支援で連携

北見信金、中小機構が覚書

北見信金(池田彰理 理事長)と、独立行政法 国の中小企業施策の総合的な実施機関である

窪之内社長は00年に愛知県で水害が起きた際、当時所属していたホームセンター「ダイゼン」(北見)から県庁に「きえ〜る」を寄贈した経験がある。今回の震災が起こった際も消臭剤を役立てることができたか、と準備を進めていたところ、日赤側から依頼があった。窪之内社長は「下水処理関連の設備が復旧



道警北本職員の見送りをを受け、警察官13人を乗せて被災地に向かう輸送車

道警北本職員の見送りをを受け、警察官13人を乗せて被災地に向かう輸送車

東農大 入学金など免除

東京農大は、東日本大震災の被災地に保護者が住む新入生などを対象に、網走市のオホーツクキャンパスなど全学で入学金などを免除する経済支援策を行う。

被災地に保護者 新入生ら対象

が全額免除か返金。在学 過去最大の規模という。生は今のところ対象に含 まれない。免除は口蹄疫 が発生した宮崎県の畜産 農家など対象の実施例が あるが、今回は大学全体 で約300人になるなどの免除に関する規定の活

北見工大、道看護大も支援検討

窪之内社長は00年に愛知県で水害が起きた際、当時所属していたホームセンター「ダイゼン」(北見)から県庁に「きえ〜る」を寄贈した経験がある。今回の震災が起こった際も消臭剤を役立てることができたか、と準備を進めていたところ、日赤側から依頼があった。窪之内社長は「下水処理関連の設備が復旧

などで交流があった。縮結で同支部の中小企業診断士の豊富な専門知識を取引先企業に提供できる機会が増え

の地域は大半が中小企業。抱えているさまざまな問題をいかにくみ上げられるかが課題で、われわれのノウハウで足りないところを

行方不明者捜索へ 道警北本13人出発

小牧港から秋田港を経由して宮古市に入り、31日から4月6日まで、行方不明者の捜索活動などを行う。宮古

「会社に貢献し」 北見で14人が合同入



北海道中小企業家同友会オホーツク支部(藤沢利光支部長)は29日、北見市内のホテルで合同入社式を行った。オホーツク管内の企業に入社する14人が

植生保護期に予 知床五湖 財団

【斜里】世界自然遺産の中心観光地である知床五湖の利用について、環境省や住民が話し合う「知床五湖の利用のあり方協議会」が28日、町ウトロで開かれ、植生保護期の予約システムや施設整備などを協議した。環境省は、植生保護期(8月1日〜10月20日)の利用について、旅行会社の窓口として予約を調整する事業者の設置を提案。通常は10日前以降に予約が可